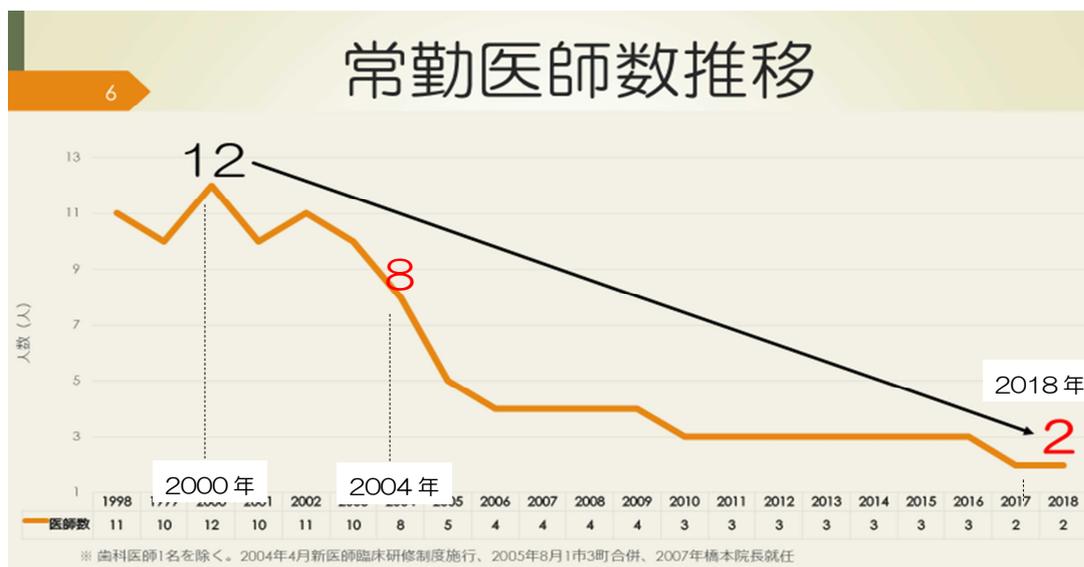


吉田病院 病院機能等改編計画 (案) について

平成31年3月1日  
宇和島市病院局

1 宇和島市立吉田病院 病院機能等改編計画策定の要因

- ① 新館・中棟・南棟のうち、IS値が中棟0.22、南棟0.33
- ② 常勤医師の増員困難（歯科医師を除き2名）
- ③ 看護職員の増員困難（41名）

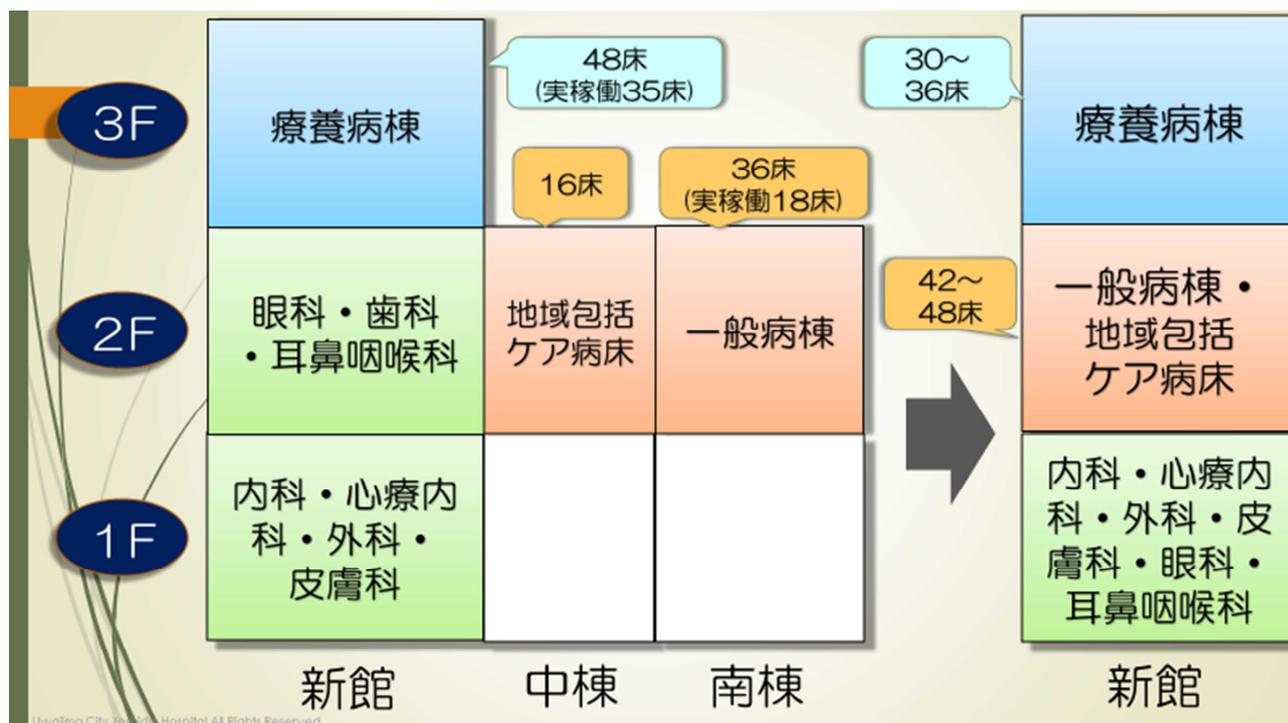


2 改編計画策定委員会（平成30年8月～、7回開催）

- ① 委員数：11名（男性7名、女性4名）
- ② 構成：自治会1、民生委員協議会1、老人クラブ1、婦人会1、青年団体1、中学校PTA1、医師会1、消防1、病院局3
- ③ 開催：毎月第3水曜日

### 3 改編計画概要

- ① 病院機能：回復期・慢性期
- ② 病院運営：新館+α（厨房棟）、中棟・南棟は解体
- ③ 外来診療科：内科、心療内科（隔週）、外科、皮膚科（隔週→毎週）、眼科（火・金の午前）、耳鼻咽喉科（月の午前） ※**歯科の廃止**
- ④ 病棟機能：一般病棟・地域包括ケア病床・療養病床
- ⑤ 病床数：70床台（一般・包括42～48、療養30～36、新館構造・設備に左右されるため基本設計で確定）



### 4 住民説明会

- ① 日時：平成31年2月5日（火）18：30～
- ② 場所：宇和島市立吉田公民館2F大ホール
- ③ 参加者数：59名

### 5 パブリックコメント

- ① 期間：平成31年2月6日～同月19日
- ② 回答：宇和島市立吉田病院HP掲載予定

### 6 今後の予定

- ① 市長、議会最終報告：3月中旬
- ② 改編計画決定：3月下旬
- ③ 基本設計・詳細設計：平成31年度～平成33年度予定
- ④ 改修工事：平成33年度～（見込）

# 南愛媛療育センター建替整備計画（案）

## 【建替理由・経緯】

南愛媛療育センターの2病棟(80床)は、昭和50年、昭和52年に建設された建物であるため、昭和56年施行の新耐震基準に適合していない。そのため、耐震診断を実施したところ、震度6～7規模の地震で倒壊する(危険性が低いis値0.6を下回る)結果となった。(結果については、下記のとおり)

また、当該病棟はアスベストが使用されていることが調査の分析結果から判明している。このようなことから大規模地震として想定されている南海トラフ地震に備え、早急な建替を行う必要性が生じ建替に向けて数年来、話し合いを進めてきたところである。

最大の論点は、建替場所であった。当初、町立北宇和病院の隣接地(県保有)に新病院建替案があり検討を重ねてきたが、資金や将来の運営への影響等もあり断念することになった。

今般、愛媛支部の最終決定として、現地建替の整備計画案を作成したものである。

なお、平成31年4月に重心病棟等の病棟集約が決定されており、新病棟完成までの間は病室等が狭隘となる。療養環境を回復させるためには工期の短縮が重要なテーマとなっている。

## (耐震診断結果)

こすもす病棟	S50.7建築	850m <sup>2</sup>	X方向	0.57	Y方向	0.63
あさがお病棟	S52.3建築	668m <sup>2</sup>	X方向	0.34	Y方向	0.40

【建設予定地】 鬼北町永野市1607 現南愛媛療育センターこすもす病棟撤去後の跡地

## 【整備計画概要】

(1) 整備前病床数(現在) 132床  
・重心病棟(40床)2病棟 80床  
・短期入所病床 2床  
・一般病床 50床

(2) 建築規模(完成後)  
・地上2階 102床  
1階【病棟52床(重心50床・短期2床)】  
2階【病棟50床(重心30床・その他20床)】・休止病棟(一般)30床(未定)

(3) 工事期間  
・平成31年度～33年度  
31年度～ こすもす病棟解体撤去(準備工事)  
32年度～ 新病棟建替え整備(本体工事)  
33年度～ あさがお病棟解体撤去(外構工事含む)

(4) 工事概要  
・一般入院は、北宇和病院へ集約する。  
一般の20床は障害児者等(その他)の入院部分として重心病棟に集約する。  
・重心病床82床(短期2床含む)は維持する。  
・現南愛媛療育センターの限られた敷地を利用するため、コンパクトな建物設計の必要があり、2階建としエレベーターを設置する。